



エコアクション21
2021年

環境経営レポート

活動期間：2021年10月～2022年9月

未来に、今より美しい水を・・・



千葉県 白子海岸

エコアクション21

東昭化学株式会社 ・ 株式会社 カズサ

2022年12月27日

1 - 1. 東昭化学株式会社 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名 東昭化学株式会社
代表者名 代表取締役 宮島昭夫
所在地 〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町2-7

2) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 取締役営業部長 岡田好明
連絡先 TEL 03-3863-0831 (代)

3) 事業活動内容

化学工業薬品、医薬品の販売
劇物、毒物の販売
食品添加物の販売
医薬部外品の販売
化粧品の販売
高度管理医療機器等の販売業・賃貸業

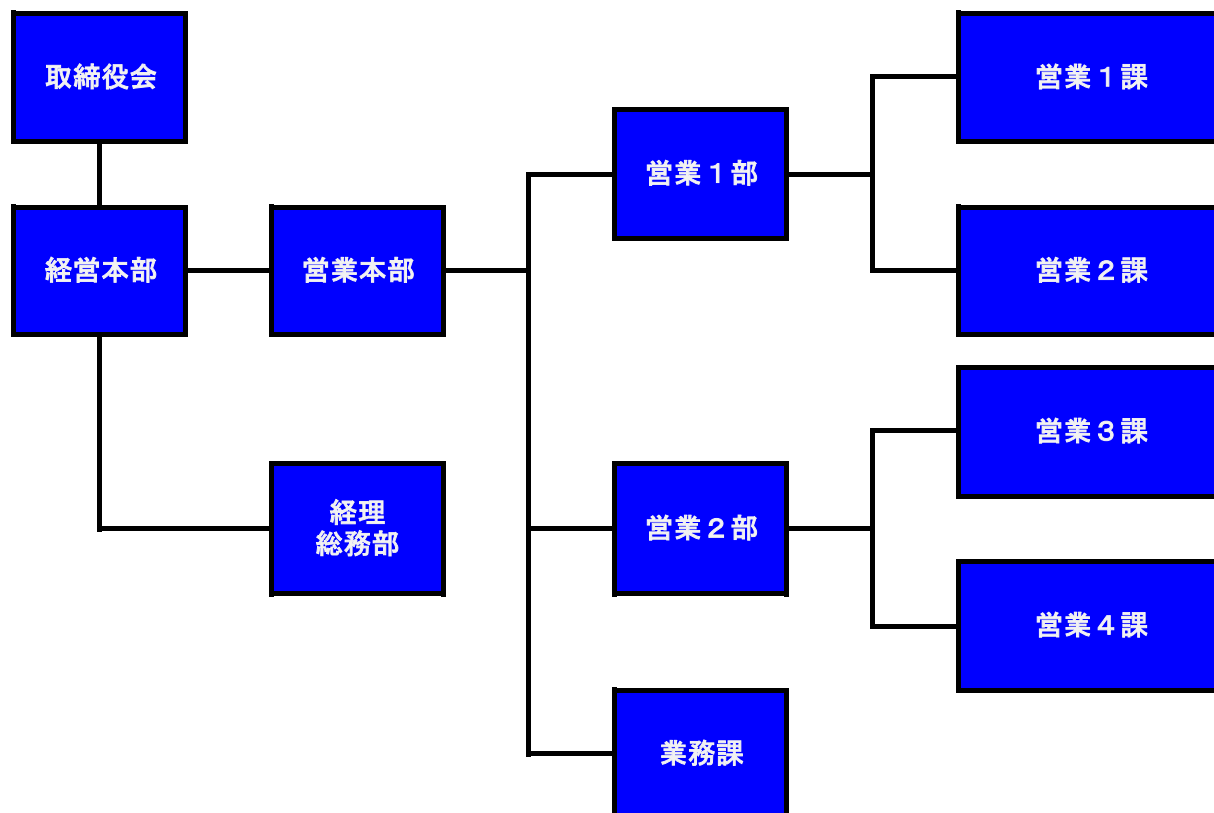
調理機器の販売業・賃貸業
水処理設備の販売業・賃貸業
物品の販売（日常生活品の販売）
賃貸業
清掃業
前各号に附帯する一切の業務

4) 事業規模

資本金 2,400万円
従業員数 24名
対象床面積 280平方メートル



5) 東昭化学株式会社 組織系統図



1-2. 株式会社カズサ 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名	株式会社	カズサ
代表者名	代表取締役	川上康夫
所在地	本社・工場	〒299-4205 千葉県長生郡白子町南日当2424-6
	東京営業所	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-7

2) 責任者及び連絡先

責任者	工場長	川上康夫（兼任）
連絡先	TEL	0475-33-6417（代）

3) 事業活動内容

化学工業薬品の製造及び販売
食品添加物の製造及び販売
医薬品の製造及び販売
劇物、毒物の製造及び販売

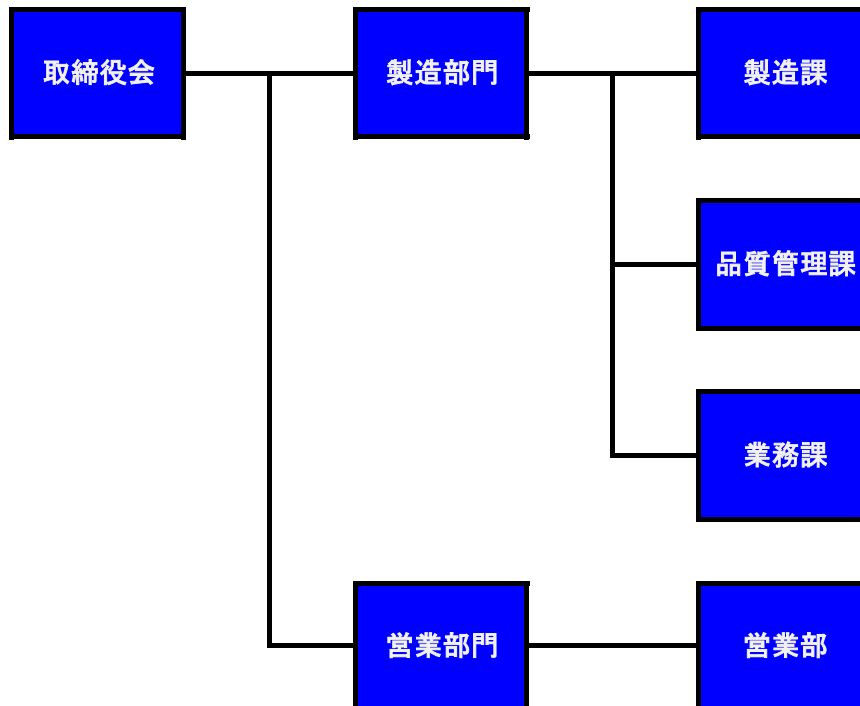
化粧品等の製造及び販売
医薬部外品の製造及び販売
前各号に附帯する一切の事業

4) 事業規模

資本金	2,400万円
従業員数	11名
対象床面積	3,400平方メートル（敷地） 1,259平方メートル（工場・事務所） 438平方メートル（倉庫）

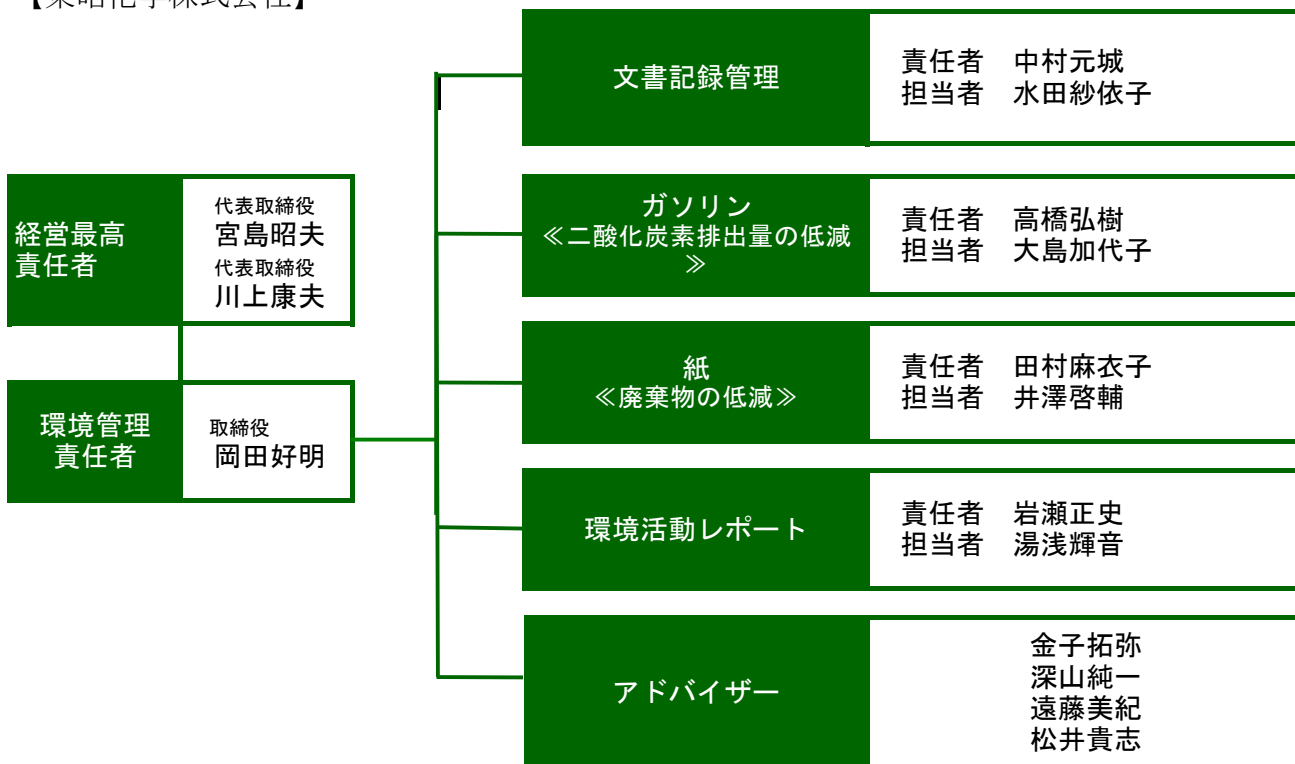


5) 株式会社 カズサ 組織系統図

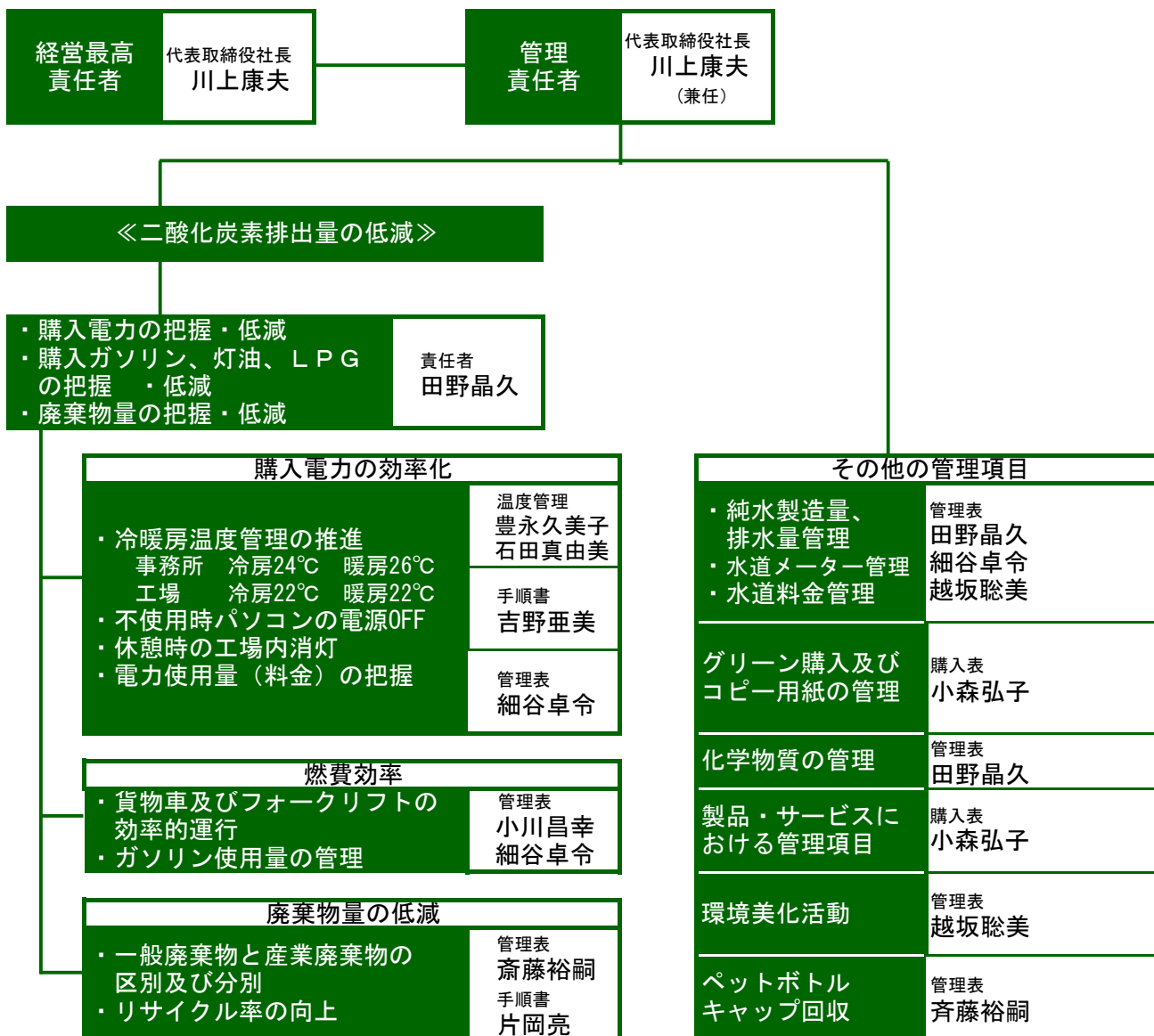


2. 実施体制

【東昭化学株式会社】



【株式会社 カズサ】



3. 環境経営方針

東昭化学株式会社及び株式会社カズサは、事業活動を通じ、地球環境の保全に最善を尽くすとともに、かかわりの深い「水」を大切にすることを常に考えながら次のことを実施していきます。

1. 環境関連法規の遵守

環境関連の法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

2. 省資源、省エネルギーの推進

限りある資源を保全するために、エネルギー消費量、廃棄物量の状況を把握しエネルギー消費の効率化を図り、廃棄物量の削減に努めます。

3. 環境マネジメントシステムの確立

環境経営方針達成のために、環境経営目標及び活動計画を定め環境マネジメントシステムの構築・運用と継続的改善に努めます。

4. 環境経営方針の周知と公表

環境経営方針を従業員全員に周知徹底するとともに、実施状況を環境経営レポートにまとめて公表します。

5. 化学物質の適正管理

化学物質を適正管理し、法令を遵守します。

2020年 10月 1日 (改定)

東昭化学株式会社

代表取締役 宮島 昭夫

株式会社カズサ

代表取締役 川上 康夫

環境方針の履歴

2006年 9月15日 (制定)
2008年 9月14日 (改定)
2011年 9月15日 (改定)
2016年 3月 8日 (改定)
2018年10月 1日 (改定)
2020年10月 1日 (改定)

4. 環境経営目標とその実績

1) 環境経営目標と実績

東昭化学(株)と(株)カズサはそれぞれ環境経営目標の項目を次のように掲げ
2016年10月～2021年9月の実績値からそれぞれの目標値を定め
2026年9月までに目標を達成するため、調査と活動計画を実施しています。

*6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)参照

*東昭化学は賃貸ビルに入居しているために、電気使用量、水使用量は把握できません。

東昭化学(株)	5か年計画 目標	2021年度 目標	2021年度 実績
二酸化炭素排出総量(KgCO ₂)	19,928	20,332	20,457
営業車燃費効率(Km/ℓ)	15.82	15.51	15.52
廃棄物量(kg)	930.10	969.30	663.00

○ グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス(ECO対応商品 41品目)

グリーン購入 : 事務用消耗品のエコ対応商品の購入推進

化学物質の管理 : SDSの整備、顧客への最新版の提供
(SDSをサーバーで管理)

製品・サービス : 営業車の効率的な走行と距離の把握
(走行距離 : 134,296^{キロメートル})

(株)カズサ	5か年計画 目標	2021年度 目標	2021年度 実績
購入電力の低減(kwh)	33,001	33,678	38,805
ガソリン購入量(ℓ)	2,223	2,269	2,354
廃棄物量(kg)	1,771	1,807	2,020
水使用量(m ³)	1,241	1,266	1,425

※二酸化炭素排出係数に係る電力の排出係数に関しましては

「登録番号A0149 グローバルエンジニアリングの0.499kgCO₂/kwh」を使用しています。

○ グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス

化学物質の管理 : 化学物質の漏洩防止管理の徹底、化学物質の適正保管

製品・サービス : 軽トラック、フォークリフトの効率的な走行

2020年度 軽トラック : 2,233^{キロメートル}・フォークリフト : 557.6h

2021年度 軽トラック : 1,862^{キロメートル}・フォークリフト : 593.5h

○ 2021年10月から2022年9月までの新たな取り組み

今年度より新たな5か年計画がスタートいたしました。

これまでに取り組んできた実績を精査して新たな目標を設定し、省資源と効率化を目指す計画を策定いたしました。

また、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大による需要の不安定感と国際情勢によるエネルギー価格の上昇で商品価格の値上げが頻発し、円安による輸入製品の高騰と供給不安に追われる年度となりました。

東昭化学㈱では更なる業務効率化推進のためのプロジェクトチームを編成して、新システムの運用により見積書の申請フローを更新して印刷用紙の削減を進めました。

また、事務局員の交代を行い、社員の意識向上を目指し、経験者はアドバイザーとして環境経営教育者として後任への指導を努めました。

㈱カズサでは生産の復調に伴い、原料となる純水の製造が増加していることから

2基ある純水装置の管理を徹底し、各所へメーターを設置することによりデータに基づく管理を推進しました。

廃棄物量の低減については製品梱包用のラップ、PPバンドの再資源化のため分別を徹底して廃棄物量低減に努めました。

2) 主な取り組み内容

○ 燃費効率の向上

東昭化学㈱

営業車の運転日報の管理を行い、日々の走行距離や使用状況を把握し、効率の良い営業活動を行う。

ハイブリッド車等低燃費車の継続使用。

㈱カズサ

軽トラック、フォークリフトの走行の効率化を図る。

○ 廃棄物量の低減（ペーパーレスの推進）

発信するFAXはPC/FAXを積極的に使用する。

裏紙の積極的な利用。紙類の分別を徹底する。

受発注業務のペーパーレス化の推進。

省資源化のためにお取引先様にも協力を依頼する。

○ 水使用量の削減

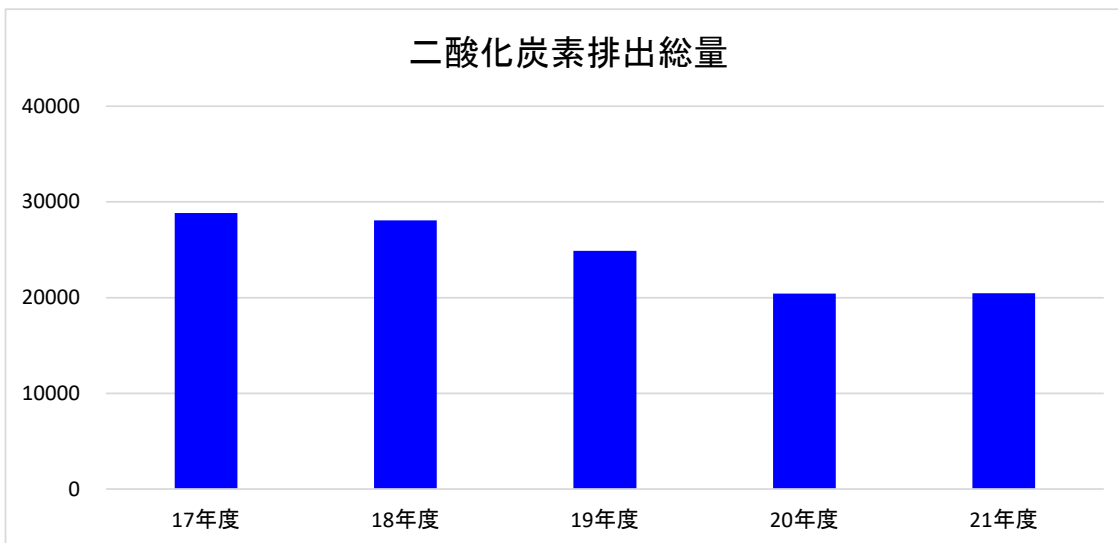
㈱カズサ

水使用量を常に把握して、効率的な使用により削減に努める。

3) 実績の推移

【東昭化学】

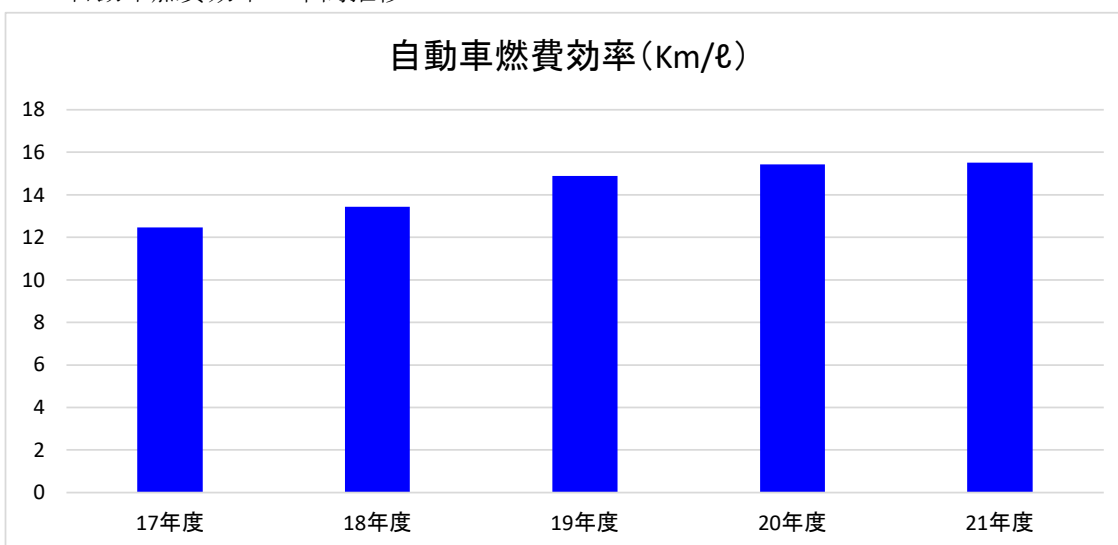
■二酸化炭素排出総量の年間推移



二酸化炭素排出総量(KgCO₂)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実績値	28,846	28,074	24,902	20,434	20,457
前年増減率	102.8%	97.3%	88.7%	82.1%	100.1%
対前年評価	×	○	◎	◎	△

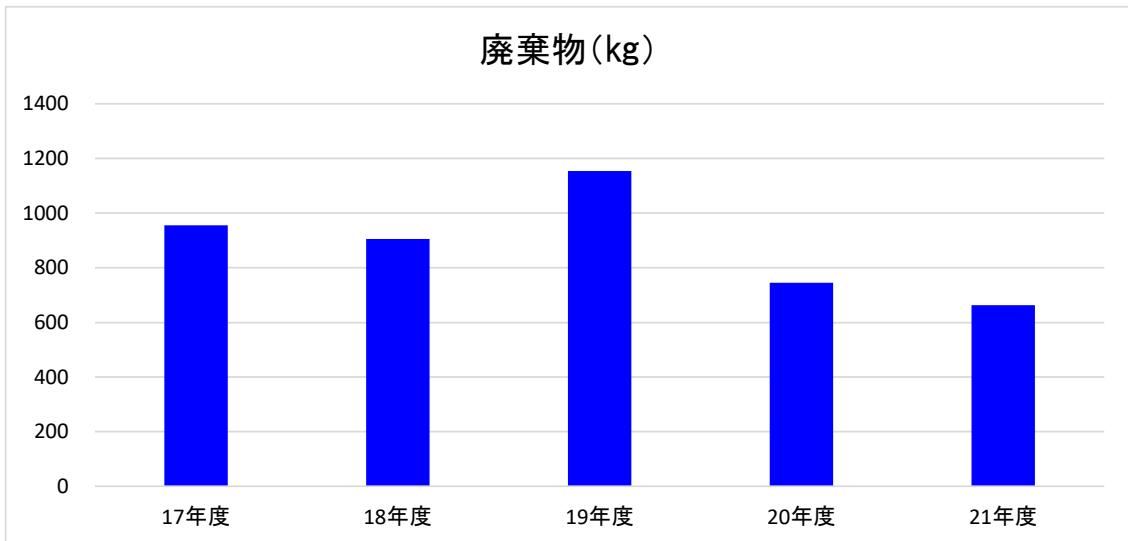
■自動車燃費効率の年間推移



燃費効率 (km/ℓ)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実績値	12.46	13.43	14.88	15.43	15.52
前年増減率	100.1%	107.8%	110.8%	103.7%	100.6%
対前年評価	○	◎	◎	◎	○

■廃棄物量の年間推移

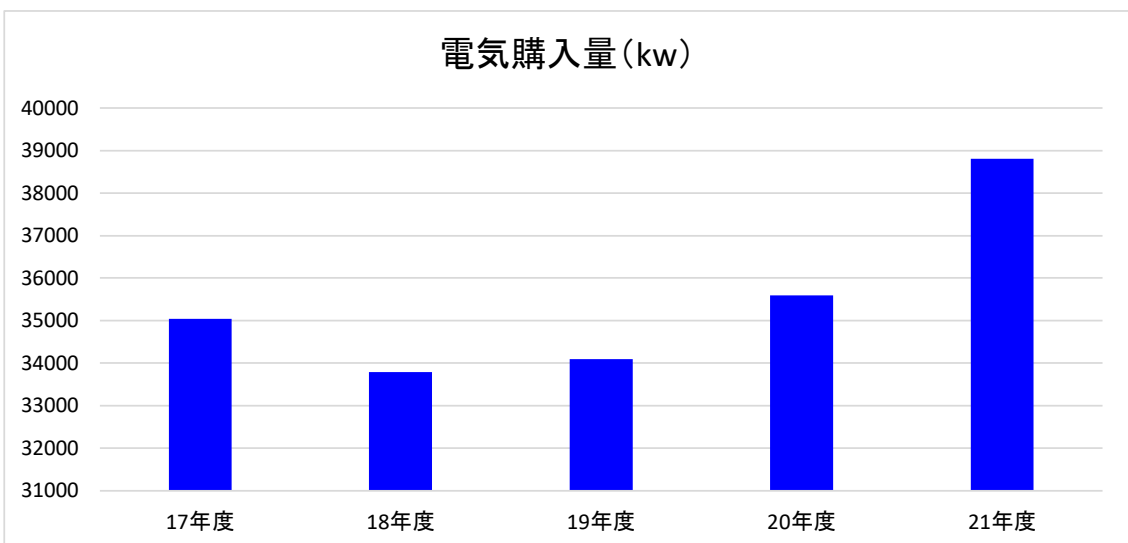


廃棄物 (kg)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実績値	955.1	904.4	1,153.1	745.0	663.0
前年増減率	83.9%	94.7%	127.5%	64.6%	89.0%
対前年評価	◎	◎	×	◎	◎

【カズサ】

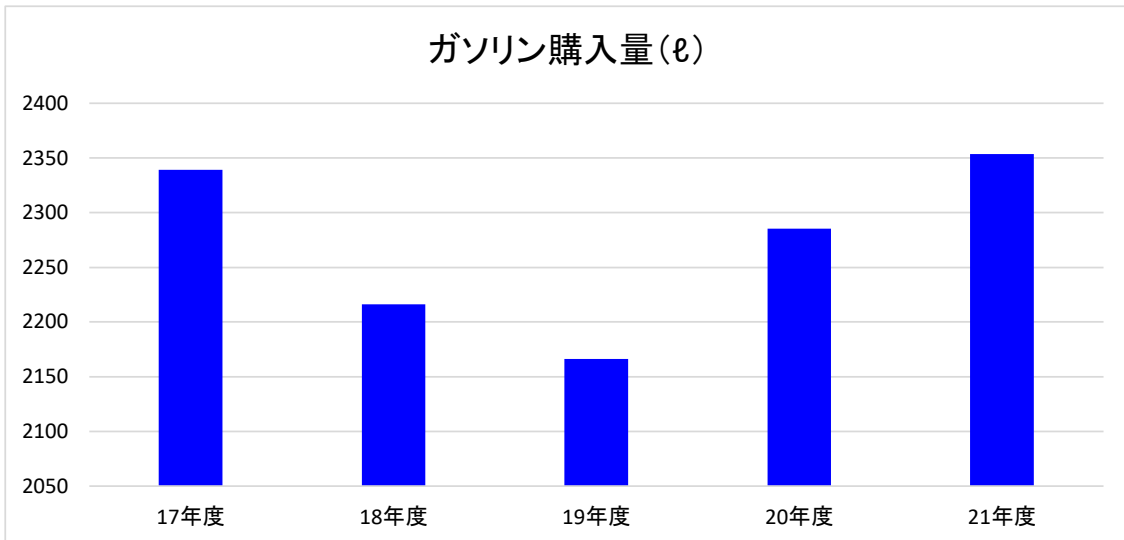
■電気購入量の年間推移



電気購入量 (kw)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実績値	35,041	33,784	34,096	35,591	38,805
前年増減率	100.7%	96.4%	100.9%	104.4%	109.0%
対前年評価	△	○	△	×	×

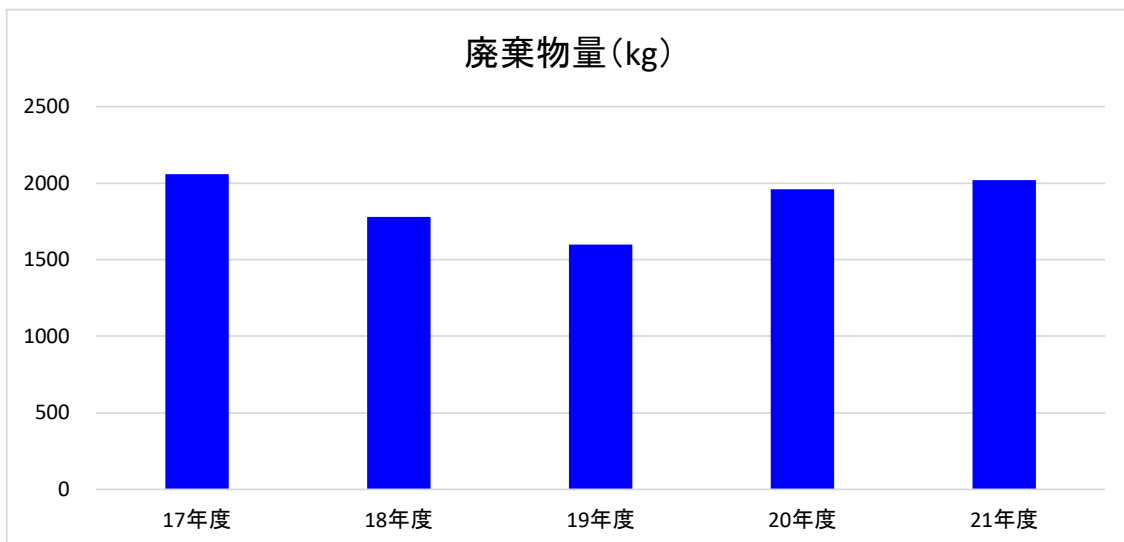
■ガソリン購入量の年間推移



ガソリン購入量 (ℓ)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実績値	2,339.2	2,216.1	2,166.2	2,285.4	2,353.7
前年増減率	-	97.6%	94.7%	97.7%	105.5%
対前年評価	-	○	◎	○	×

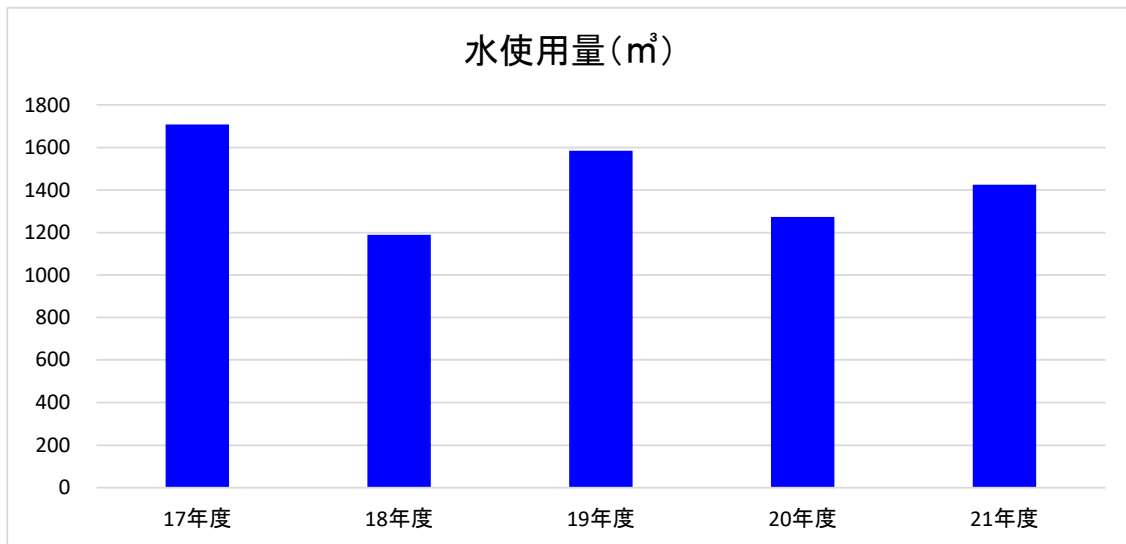
■廃棄物量の年間推移



廃棄物量 (kg)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実績値	2,060	1,780	1,600	1,960	2,020
前年増減率	-	122.6%	86.4%	89.9%	122.5%
対前年評価	-	×	◎	◎	×

■水使用量の年間推移



水使用量 (m³)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実績値	1,708.0	1,189.1	1,584.7	1,272.3	1,425.0
前年増減率	110.0%	69.6%	133.3%	80.3%	112.0%
対前年評価	×	◎	×	○	×

4) 環境活動の取組結果とその評価

【東昭化学株式会社】

①二酸化炭素排出量の低減

* 電力

東昭化学(株)の入居ビルでは契約上、電気代は家賃に含む一定額となっている。しかし、環境教育の一環として積極的な消灯活動、空調の適正温度管理を行っている。夜間、休日のPCの電源OFFを徹底している。

* ガソリン

価格高騰により購入金額は増額したが、燃費効率は向上した。貨物車両の低燃費化が課題。

②廃棄物排出量の低減

FAXのペーパーレス化で使用するアプリケーションの全社員への導入が完了して一層の効果を上げている。受発注業務の更新で完全ペーパーレス化が実現して、帳票の購入が無くなり、今後の廃棄量の低減に効果が期待できる。

③グリーン購入・リサイクルの推進

社内備品の購入に関しては、積極的にグリーン購入を行っている。リサイクルに関してはペットボトルキャップの回収と寄付を行っている。

④環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

⑤環境教育の推進

営業車を効率よく、安全に運行させるために出発前・後の点検や運行記録を取って燃費に対する意識を高めるよう教育している。また、社内業務においては紙資源への意識や電気の適正管理を積極的に行っている。

【株式会社カズサ】

①購入電力の効率化

使用電力のピークオーバーを避けるために機器類の電源管理をしていたが、倉庫の温度管理に使用した大型エアコンの要因により管理値を上回ってしまった。

料金の価格上昇も続く状況もあり、全体的に取組に対する再考が必要。

②燃費効率の向上（ガソリン使用量）

出荷作業時にフォークリフトと台車を併用し、効率的に作業を進めてガソリンの消費量削減に効果があった。出荷量の増加による使用量の増加は避けられないが効率は常に考えて目標と向き合う。

③廃棄物排出量の低減

今期より開始した廃ラップ、PPバンドの資源化回収量が173Kgとなり、低減に大きな効果があった。事務所棟のリフォームに伴う処分品の排出が260Kgあり目標達成には至らなかったが、新規取組の実績が出て、今後の低減に効果が期待できる。

④水使用量の削減

各所にメーターを設置して詳細な使用量を把握できるようになり、データの分析による対応が可能になった。夏季に埋設配管より漏水があり、目標達成には至らなかった。

生産量と水使用状況を定期的に確認して異常時の早期発見に生かしたい。

⑤リサイクルの推進

ワクチンキャップ運動の目的を周知し、キャップの回収を促進した。プラドラムの処理を裁断して減容化した。廃ラップ、PPバンドの資源化回収を開始した。

⑥環境関連法規の遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

⑦環境教育の推進

全社員にて環境活動を実施している。活動に関する担当をローテーションし、定例会議により各取組について全社員が理解して意識を共有することができた。

5) 取組結果を踏まえた2022年度の取組み目標は

【東昭化学株式会社】

①二酸化炭素排出量の低減

*電力

事務局員の交代により、取組みに対する意識を浸透させていく。
空調の適正温度管理、PC電源管理の徹底を図る。

*ガソリン

社内営業車を更新する際は引き続き低燃費車を使用し、出張時にも低燃費車を積極的に使用するなど、エコドライブを心掛ける。

②廃棄物排出量の低減

業務システムの改善で効率化と更なるペーパーレス化（電子化）を推進する。
ミスプリントの防止、資料の電子化などで紙の使用量を抑制する。
カズサとの連携業務を見直して効率化の相乗効果を目指す。

③グリーン購入・リサイクルの推進

積極的にグリーン購入を推進。
紙類の分別を徹底して、リサイクルを推進。

④環境関連法規の遵守

化学物質を適正管理し、環境関連法規を遵守していく。

⑤環境教育の推進

全社員へ定期的にエコ活動における取組状況を通知する。
また、エコ委員による指導を行い、意識向上を目指す。

【株式会社カズサ】

①購入電力の効率化

今期ピークオーバーの原因となった設備の運用を含め、使用設備全体の工夫を再考する。

②燃費効率の向上（ガソリン使用量）

フォークリフト運転時間の集約、整備により燃費効率を向上させる。

③廃棄物排出量の低減

原材料容器、梱包材量などからなる産業廃棄物について有効利用、再資源化を
探求して生産増加による要因を軽減する。

④水使用量の削減

メーター管理データにより使用量を常時把握してロスをなくし効率的な使用を目指す。

⑤グリーン購入・リサイクルの推進

ワクチンキャップ運動の継続。廃ラップ、PPバンドの梱包廃棄物について資源化回収を
継続する。

⑥環境関連法規の遵守

化学物質の適正保管、漏洩防止管理の徹底。

⑦環境教育の推進

新入社員への環境経営教育を実施。定例会議を開催し意見交換を行うことで常に環境活動
への意識を高め、取組みへの理解と推進の意識を共有していく。

6) 新5か年計画(2026年9月までの環境経営目標)

【東昭化学株】

T-1 二酸化炭素排出総量の低減

2020年度の実績値(20,434kgCO₂)を基準値とし
2026年9月までに二酸化炭素排出総量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 19,923 kgCO₂

T-2 燃費効率

2020年度の実績値(15.43Km/l)を基準値とし
2026年9月までに営業車の燃費効率を2.5%向上させる。
2026年9月までの目標値 15.83Km/l

T-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(979.1Kg)を基準値とし
2026年9月までに廃棄物量を5%低減する。
2026年9月までの目標値 930.1kg

【株カズサ】

K-1 購入電力の効率化

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(33,847kw)を基準値とし
2026年9月までに購入電力を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 33,001kw

K-2 燃費効率の向上(ガソリン使用量)

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(2,280l)を基準値とし
2026年9月までにガソリン使用量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 2,223l

K-3 廃棄物量の低減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,816t)を基準値とし
2026年9月までに廃棄物量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 1,771t

K-4 水使用量の削減

2020年度までの過去5か年の実績値の平均(1,272m³)を基準値とし
2026年9月までに水使用量を2.5%低減する。
2026年9月までの目標値 1,241m³

7) 代表者による全体評価と見直し

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が輸入材料の供給不安を及ぼし、さらに紛争によるエネルギー価格の高騰や為替の大きな変動によって製品価格の相次ぐ値上げ交渉に翻弄されました。そのような状況下でも環境経営目標の新たな5か年計画がスタートし目標達成に向けて各取り組みを実行いたしました。

全社員で取組みに関わり、意識を共有することによって計画を推進することができました。

市場変動の激しい状況で情報を整理してお取引先様に適切な対応がなされたと思います。未だに国際紛争の解決が見えず感染症対策を講じながらと厳しい環境が続いていますが、これまでの経験を活かし効率化と省資源を模索して事業活動計画を推進させてまいります。



東昭化学(株)では例年がない早い梅雨明けとともにプール関連の消毒剤需要が復調し営業活動も活発化の傾向にありましたが、再度の新型コロナウイルス感染症拡大による対策での行動制限があり、営業車の稼働も昨年並みとなり、ガソリン購入量も昨年同程度となりました。しかしながらエネルギー価格の高騰により購入金額は大幅に上昇しています。ハイブリッド車、低燃費車への更新も進み燃費効率も維持していますが、貨物車両2台の燃費向上が課題となります。

また、販売管理システムの更新が試行期間を経て2月より本格運用が開始され、使用していた帳票の廃止と受発注業務の効率化が進み、営業管理ツールとしての運用も開始されました。今後は(株)カズサとの連携業務の見直しと改善に取り組めます。



(株)カズサでは医薬品保管倉庫の温度管理用エアコンやオートシャッターの設置などの設備更新があり、また生産の復調から電力使用量が増加してしまいました。今後も新製品製造のための設備更新が予定されていますので使用量の増加が見込まれます。照明のLED化を進め、従来以上の節電に取り組んでください。

廃棄物の低減において広い視点で対策を模索し、今期より梱包ラップなどの資源化回収が始まり有効な結果を得ることができました。今後も社員全員で協議し、意見を出し合い取組みと向き合ってください。

【ワクチンキャップ運動への参加】

東昭化学(株)・(株)カズサは共同で、ワクチンキャップ運動を推進しております。社会貢献活動の一つとしてボトルのキャップを回収し、二酸化炭素の軽減と世界の子供たちのためのワクチン購入費を寄付する活動を支援しております。



〈ペットボトルキャップ回収結果〉
回収期間 (2021年10月1日～2022年9月30日)

	kg	個数
合計	6.2	2,666

品名	回収量	回収数	回収率
PETボトルキャップ	6.2kg	2,666個	100%
合計	6.2kg	2,666個	100%